

第11回 福幸祭 ～明るい未来へ～

開催趣意書

本年、我々二本松青年会議所では第11回目の福幸祭を開催する運びとなりました。これもひとえに、地域の皆様方のお力添えがあつてのことと心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑みて『第11回福幸祭～新たな一歩～』を中止せざるを得ませんでした。福幸祭は戊辰戦争の際に郷土を守るため命をかけて戦った二本松少年隊を顕彰し、地域の明るい未来創造のために開催をしてみいました。このような状況だからこそ福幸祭を開催し、地域活性の一助となるべく今年こそ開催を目指してまいります。

本年の福幸祭は「明るい未来へ」をテーマに掲げ、「SDGs」の認知向上と推進に取り組んでまいります。「SDGs」とは持続可能な開発目標のことであり、国連で定められた2030年までに17の目標と169のターゲットを達成しようと定められたものであります。しかし今、何も手を打たなければ持続不可能な世界になってしまいます。そこで二本松に「SDGs」の考えを広げ、機会を創出し、持続可能な地域を目指し、明るい未来へ繋いでいければと考えております。

また、二本松少年隊の顕彰と供養の気持ちを込めて、秋の夜空に大輪の花火を打ち上げます。恒例となったこの花火の打上げが二本松の郷土の魅力のひとつになればと思います。

地域が明るくなり、これまで多くの先人たちから受け継がれた想いを胸に地域に誇りを持ち、二本松の市民に故郷の魅力を伝え、この事業が地域に根ざしたものになることを目指し、二本松の明るい未来へと繋げてまいります。

最後になりますが、第11回福幸祭が素晴らしい大会になるようメンバー一丸となって精一杯努めさせていただきます。皆様におかれましては、本事業の趣旨をご理解の上、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人二本松青年会議所

理事長 岡 藤浩